

平成 24 年 11 月 20 日

福井県嶺南振興局  
小浜土木事務所御中

一般社団法人 日本地質学会 会長  
石渡 明

おおい町大島の県道法面工事における露頭保全のお願い

福井県おおい町大島半島地区の県道沿いの法面工事現場の露頭保全について、日本地質学会として要望申し上げます。

大島トンネル出口から北西へ約 200 メートルの地点は、添付資料の説明の通り、古生代の海洋地殻（夜久野オフィオライト）のモホ面（地殻とマントルの境界面）が陸上に露出している、日本では唯一のモホ面露頭であります。この露頭は約 40 年前に開削されて以来、ほぼそのままの状態を保っておりましたので、長年にわたり全国の地球科学関係の学生・研究者が見学や研究のために利用してきており、また外国の地質研究者も度々訪問してきました。ところが、現在この露頭を掘り下げて、コンクリートの防護壁を設置する工事が行われており、今後この貴重な露頭を観察することができなくなることが危惧される事態になっております。私ども地質学者は、このような工事が、道路通行の安全のために行われるものであることは十分に理解しておりますが、そのために貴重な自然遺産が消滅してしまうとすれば、残念でなりません。貴土木事務所におかれましては、このような学術的に貴重な露頭を、学生、研究者、そして一般の自然愛好者が施工後も観察することができるよう、適切な方策をとっていただきたく、よろしくお願い申し上げます。なお、日本地質学会は、道路工事で露出した貴重な露頭の重要性を理解し、その保全に尽力した千葉県南房総市を、平成 23 年 9 月 9 日に表彰させていただいたことを申し添えます（次の HP をご参照下さい）。

<http://www.geosociety.jp/outline/content0103.html>

<http://www.green.go.jp/gyoumu/nogyo/05.html>

[http://www.green.go.jp/gijyutsu/pdf/tokutei\\_h2101.pdf](http://www.green.go.jp/gijyutsu/pdf/tokutei_h2101.pdf)

敬具

添付資料：

石渡 明 (2001) 「2. 大飯：大島半島の夜久野オフィオライト」第 2 地点，大飯町朝倉鼻南東（モホ面）. 北陸の自然をたずねて編集委員会「北陸の自然をたずねて」築地書館, 10-15.

石渡 明・中江 訓 (2001) 「福井県若狭地方の夜久野オフィオライトと丹波帯緑色岩」.

日本地質学会第 108 年学術大会(2001 金沢)見学旅行案内書, 66-84 (第 6 班若狭, Stop 7).

石渡 明 (2006) 「3. 3 大島半島中部 舞鶴帯夜久野オフィオライトのモホ面露頭」. 日本地質学会編「日本地方地質誌 中部地方」朝倉書店, 188-189.